
出雲の戦巫女

天翔院飛鳥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

出雲の戦巫女

【コード】

N6736H

【作者名】

天翔院飛鳥

【あらすじ】

戦巫女の修行の一環で少女は転校生として麻帆良学園に入学する。

プロローグ（前書き）

某サイトに職人として投稿していた小説の再構成です。

プロローグ

あたしの家系は出雲という戦巫女の組織に所属しており、女兒しか生まれないと少し変わった家系である。

そして、あたしこと結城真奈美は戦巫女の修行の為、転校生として麻帆良学園女子中等部に入学する事になったのです。

「ここが麻帆良学園……最初に近衛お爺様に挨拶してから、龍宮おじ様達に挨拶しに行くんだったわね」

「あの、結城真奈美さんですよね？」

「もしかして、麻帆良学園の人？」

「はい、学園長先生が結城さんをお迎えするようにと」

「わざわざすみません」

「いえ、それでは参りましょうか」

*

「おお、真奈美君元気そうじゃの」

「近衛お爺様もお元気そうで」

「あの、学園長先生……彼女はいいたい」

真奈美を学園長室に案内することを命じられたものの説明を受けていなかった桜咲刹那は説明を促す。

「おお、刹那君には説明してなかったの、出雲という組織は知っておるかの？」

「いえ、名前だけしか」

「出雲というのは戦巫女の組織でな、『倉橋』を長として『結城』『鹿島』『白河』の四家で構成されている組織じゃ」

「それで結城家はちょっと特殊で女の子しか生まれません。そうでなくても巫女は未婚者ではなくてはなりませんから、今当代の座は空位なんです。

それであたしは当代になる為に戦巫女の修行の一環として、この学園に入学する事になったんですよ」

「学園長先生、それでは結城さんは3-Aに？」

「うむ、そのつもりじゃよ」

「そうですか。それでは私はここで」

「刹那君ご苦労じゃったな」

刹那が学園長室を出ていくのを見届けると学園長が口を開く。

「さて、君の担任なのじゃが、明日職員室で会うようにな」

「わかりました」

「それでの、一つ困ったことがあってな寮の部屋が空いてないのじやよ」

「いえ、ここにいる間は龍宮神社で世話になることになってるので」

「そうか、では必要な物は事務で受け取るようにな」

「わかりました。

では失礼いたします」

その後、事務室に寄って制服と教科書を受け取った真奈美は龍宮神社を目指すのだった。

プロローグ（後書き）

出雲に所属している家は無理矢理な感じがしますが大目に見てください。

巫女は未婚者じゃないといけないというのも本当のところはよくわかりませんし複数の家系で持ち回りとかがあるのででしょうか？

魔法先生ネギま！と永遠神剣シリーズのクロスオーバーということになってますが主人公を戦巫女にするために出雲の組織に組み込むということしか思いつかなかっただけなんですよね。

この小説の成分はほぼ魔法先生ネギま！で構成されています永遠神剣シリーズの成分は名前だけの登場ということでお願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6736h/>

出雲の戦巫女

2010年10月10日04時18分発行